

宮崎市郡医師会病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。いつでも本研究への参加を拒否することが可能です。

研究課題名 (研究番号)	変性性僧帽弁閉鎖不全症に対する人工腱索を用いた僧帽弁形成術において、腱索長を正確に設定するための結紮法としての taut-line hitch knot の有用性
当院の研究責任者 (所属)	矢野 光洋 心臓血管外科
本研究の目的	<p>変性を原因とする僧帽弁閉鎖不全症に対する手術方法には弁置換術と弁形成術の二種類あります。弁置換術と比較して、自己弁を温存する形で施行される僧帽弁形成術の方が、生命予後の改善効果が大きいことは確立された概念となっています。</p> <p>僧帽弁形成術は、逸脱弁尖を切除する切除縫合術と、人工腱索 (ePTFE 糸) を植え込む人工腱索移植術に大別され、そのいずれかもしくは、両者を複合したかたちで手術が施行されます。ところで人工腱索については、その長さを適切に設定することが手術の成否を左右しますが、長さを決定する具体的な手技については確立されたものがなく、手術を担当する術者によって異なっています。当院では人工腱索移植に際し、人工腱索となる糸の結紮方法を工夫することにより確実な僧帽弁形成術を可能としてきました。</p> <p>本研究は、宮崎市郡医師会病院で行われた、変性を原因とする僧帽弁閉鎖不全症の手術における人工腱索の結紮法について、当院で施行している方法の妥当性を検証することを目的とした研究です。結紮法の改良により最大限の効果が得られることを明らかにすることを目的とします。</p>
調査データ 該当期間	宮崎市郡医師会病院心臓血管外科で 2019 年 12 月から 2020 年 10 月の間に行われた、変性性僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁形成術を受けたすべての患者さんが対象となります。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>【実施責任者】 宮崎市郡医師会病院 (心臓血管外科部長: 矢野 光洋)</p> <p>対象となる方のカルテ情報から、年齢・性別・並存疾患等の基礎データ、心臓超音波検査等の検査結果、手術の際に使用した人工弁輪の種類とサイズ、体外循環に関する時間データ、および手術の結果としての手術死亡率、主要合併症発生率、弁置換への変更率などについて検討します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	カルテ情報は匿名化された情報として、加工された情報を主たる研究機関に提供しません。
研究計画書および研究 に関する資料	<ol style="list-style-type: none">1) 研究計画書及び研究の方法に関する資料は請求に応じて入手又は閲覧可能です。ただし、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。2) 入手、閲覧を希望される方は研究責任者までご連絡ください。
個人情報の取り扱い	研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報 (どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る)」として使用いたします。
資料、情報利用の拒否 について	診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。いつでも本研究への参加を拒否することが可能です。
本研究の資金源	この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。なお、

(利益相反)	本研究の実施責任者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反はありません。
お問い合わせ先	宮崎市郡医師会病院心臓血管外科 科長 矢野光洋 電話：0985-77-9101 FAX：0985-23-2210
備考	